

栄養改善事業推進プラットフォーム委託事業

「ミャンマーにおける給食事業を通じた職場の栄養改善事業調査」

まとめ

令和2年1月-3月

特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構  
(ILSI Japan)

ワールド産業株式会社

## 1. 概要

ミャンマーにおける給食事業を通じた職場の栄養改善事業立ち上げを目指して、2020年1月および3月に合計2回の出張調査を実施し以下の点を確認することができた。

1) 多くのミャンマー人の食事は多量のお米を、油こく塩辛い少量のおかずで食べるパターンが多く、タンパク、微量栄養素の不足と、エネルギー、油、塩の過剰摂取による生活習慣病の増加が同時に存在する典型的な栄養不良の二重負荷の状況であり、改善の必要性は高い。ミャンマー人がおいしく感じかつバランスの取れたメニューを開発していく必要がある。

2) 職場の栄養プロジェクトを推進する際、パートナーとなるべき現地機関は National Nutrition Centre (Department of Public Health, Ministry of Health and Sports) であり、キーパーソンは Dr. Lwin Mar Hlaing (Deputy Director) である。

3) National Nutrition Centre は栄養強化米の導入にも取り組んでおり、ミャンマー国内の栄養強化米プレミックス生産工場およびブレンド工場と連携を取っている。本プロジェクトでも栄養強化米を導入することを検討する。

4) 実際に健康メニュー、栄養啓発活動を導入するパイロット試験協力予定の工場としてブルマーレ、エースコックおよび IIDA の3社を確認することができた。また、Myanmar Postarion も参加する可能性が示唆された。

5) 関連政府機関、大学、SUN Business Network/WFP、JICA 等とも打ち合わせをおこない、今後の連携を確認した。

6) 介入試験実施の際の試験内容詳細、倫理審査は Dr. Lwin と密に相談しつつ進める事とした。(ミャンマー政府に広いネットワークを持つ Thein Htaik 先生のアドバイスを頂く。)

## 2. 今後の展開

1) モデル工場での介入試験について、来年度の NJPPP 新規プロジェクトとして提案する。(4月-5月)

2) 介入試験に関する倫理審査の為の書類準備を進める(3月-4月)

3) 介入試験実施工場との詳細打ち合わせを実施する。

4) 本プロジェクトに参加する団体 (ILSI, ワールド産業、JICA、National Nutrition Centre, 現地大学等) の役割を明確にし、必要な契約締結を急ぐ。

5) 介入試験の6月-7月立ち上げを目指す。

以上